事務事業調書	No	185	課 名	社会福祉課	起 案 者	山口信義
平成23年度			係 名	社会福祉係	決 裁 者	清水信行
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	5,18,25
事務事業名	地域福祉計画推進事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 6 地域福祉 2 地域福祉力の向上 1 地域福祉力の向上	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	15-5-5
		総合計画以外の計画	地域福祉計画、地域福祉計画実施計画
		関連する総合計画の施策	2-2-6-2-1
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	社会福祉法	
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 平成17年度	経 過 6年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	地域住民が	～になる	地域福祉の推進の主体になる
事務事業の内容	地域住民が地域福祉の推進の主役として、地域での福祉活動を充実しやすくするために、その推進役である地域の社会福祉協議会に地域福祉計画推進補助事業として補助金を支払っています。 また、地域住民に地域福祉計画を自分たちのものとして考えてもらうため、第1次地域福祉計画を策定後、町内会を始めとした福祉団体や民生委員、小中学校、福祉事業所などに呼びかけ、各団体ごとに実施する項目を３つずつ挙げてもらい、市の施策とあわせて実施計画を作り、地域福祉活動の推進を促しています。			
事務事業進捗状況	地域福祉推進のため、安城市社会福祉協議会が各町内会に呼びかけ、福祉委員会の設置を進めています。（福祉委員会とは、町内会単位に地区内の福祉団体、民生・児童委員、町内会役員、ボランティア等で構成され、地域住民によるきめ細やかな福祉活動を推進するための組織）各町内会や福祉団体等に提出していただいた地域福祉計画実施計画の進捗の見守りを行っています。（22年度は、地区社協にて集約）平成20年度末に第2次地域福祉計画を策定しました。22年度は、市各課の取組状況を健康とやすらぎ推進本部で報告しました。			
改善・対策の履歴	地域の実績は、地区社協で集約します。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		77,149	73,783	63,823	59,499	61,896	59,090	56,419
	財 源 計 a		70,748	67,382	63,070	58,746	61,143	58,337	53,332
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	70,748	67,382	63,070	58,746	61,143	58,337	53,332
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		6,401	6,401	753	753	753	753	3,087
	内 訳	従 事 職 員 数	0.85	0.85	0.10	0.10	0.10	0.10	0.41
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	地域福祉活動推進補助	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	補助事務(式)	活動の総事業費f 実績	66,116	59,499	59,090	
				単位コストg=f÷b 実績	66,116.00	59,499.00	59,090.00	
	活動②	活動名（活動内容）	第二次計画の策定	見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	1.00	0.00	0.00	
		指標名(単位)	策定事務(式)	活動の総事業費f 実績	5,648	0	0	
				単位コストg=f÷b 実績	5,647.50	0.00	0.00	
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	福祉委員会の設置数(か所)	見込(単位)	64.00	66.00	68.00	70.00
			実績(単位)	72.00	73.00	73.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	79.00	目標達成年度	平成26年度		
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	各団体ごとに実施計画を作成し提出してもらう事により地域福祉計画の実施の主体は、地域住民であることを広めることができました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	地区社会福祉協議会の活動内容や職員構成の変動により単位コストが変動しました。
	成果1，2	平成20年度から22年度にかけての福祉委員会の設置数は横這いです。今後も地区社協から町内会への働きかけ等を依頼していきます。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	地域への働きかけに、より力を入れること。地域福祉計画の実績について整理すること。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	地域福祉活動については、第2次安城市地域福祉計画の推進も含め、市社会福祉協議会および地区社会福祉協議会との連携のもとで行うよう推進していきます。 また、福祉委員会やその他福祉関係団体などとも、市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会を通して、連携しながら地域福祉活動を推進します。